

令和4年度富山県総合防災訓練において臨時災害放送局の開設訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長：小津 敦）は、令和4年10月16日（日）、令和4年度富山県総合防災訓練（主催：富山県、小矢部市）に参加し、第1会場のクロスランドおやべにおいて、同市とともに臨時災害放送局の開設訓練を実施しました。

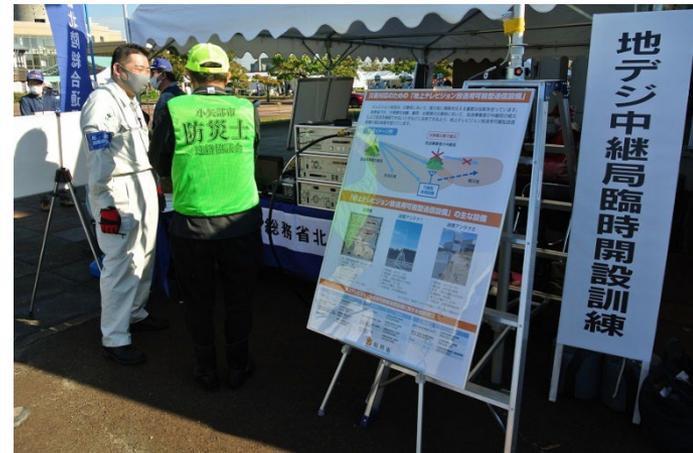
今回の訓練では、大雨や地震による被災に伴い、地域住民や滞在者に対して緊急避難情報や被災者支援情報を発信する必要性が発生との想定のもと、①小矢部市からの要請を受け、北陸総合通信局が臨時災害放送局設備（FM設備）を無償貸与する訓練、②小矢部市からの口頭申請を受けて、北陸総合通信局が臨時災害放送局を免許する訓練、③小矢部市が臨時災害放送局を開設し、地域住民に情報伝達する訓練を実施しました。

同時に、地上テレビジョン放送用可搬型送信設備を会場に設営し、本設備の紹介映像を放送しました。

なお、災害時、北陸総合通信局は、①各県対策本部や市町村に連絡要員（リエゾン）を派遣し、被災地における通信・放送サービスの状況を情報提供するとともに被災地の要望を把握する、②自治体や事業者に対し、機材（臨時災害放送局設備、移動電源車、移動通信機器、ICTユニット等）を無償貸与することとしています。北陸総合通信局は、このような対応を通じ、引き続き地域に貢献します。



説明を受ける新田八朗富山県知事（中央右）



災害時に役立つ様々な機器を展示・実演した当局ブース